



KT (簿記会計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

3期続けてきたため、最後まで続けようと思いました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

毎回の授業準備。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人前で話すことに抵抗がなくなりました。また、どのように講義をするか考える中で、自分自身の簿記に関する知識の増強も測ることができました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

何百人を前に定期的に話をする機会は学生生活の中ではそうそうないことだと思います。僕は、春学期に就職活動をしていましたが、学生時代力を入れたこととして、SAの業務の話をしていました。講義に関する多くの裁量を任せて頂ける制度は、滋賀大学ならではのものであり、人事の方々にも興味を持って自分の話を聞いていただけたように思います。SA業務は、自分の経験値を高めたい方や新しいことに挑戦したい方、自分を変えたい方には是非オススメしたいです。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

今学期もありがとうございました。



K M (簿記会計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

大学2年生の時に会計ラボというサークルの先輩から勧められてSAという仕事に興味を持ったことがきっかけです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

私は大学で初めて簿記に出会ったため、簿記に対して苦手意識をもっていました。何度も簿記会計のコアセッションを行っていくうちに自分の簿記に関する知識や自信が付き、もっと簿記について学んでいきたいと思うようになったことが印象に残っております。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験して最も変化したことは大勢の前で話すことに対する抵抗が少なくなったことです。私も初めてSAとして講義を行ったときは緊張のあまり手元の資料を見て解説することしかできず、受講者の方を見ることができませんでした。しかしながら、コアセッションが4、5回目にもなると緊張も収まり、落ち着いて受講者の方に視線を向けながら講義をすることができるようになりました。大学生である間は大勢の前で話す機会はなかなかないかもしれませんが、社会人になると顧客や重役に対して説明を行わなければならないことがあると思います。そのようなときに落ち着いて分かりやすく説明する能力は役に立つと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

コアセッションを受講してSAという仕事に興味を持たれた方も多いと思います。しかし、「自分に勤まるだろうか」「講義の準備って大変じゃないの」このような不安を抱えているために1歩を踏み出せない方もいらっしゃると思います。安心してください。SAの方々は皆、面倒見がよく、分からないことや困ったことがあればすぐに助けてくれます。案外、初回の講義さえ切り抜けてしまえば後は簡単です。しっかりと授業準備をしておけば、詰まることなく講義を進めることができます。今までのことを振り返ってみるとSAに応募するその1歩が最も大変なことであり、その後は想像よりも順調にSAとしての職責を果たすことができたと思います。私がSAという仕事を皆さんにお勧めする理由の一つとして一緒に働く職員のレベルの高さがあります。SAになる学生は基本的に学業に励んでいる傾向が強く、勉強熱心です。中には講義資料を作成するために何時間もPCや参考書とにらめっこしているツワモノSAもいます。コアセッションの担当で分からないところやもっと分かりやすい説明がないか悩んでいるときには非常に頼りになる存在です。また、学習教育支援室の職員の方々はSAが働きやすいように常に気を配って様々なアイデアを実現してSAを支援してまいります。このような素晴らしい職場にはなかなか出会えないと思っています。SAになりたいと思っているのであれば、勇気を出して手を挙げてみましょう。きっと多くの優しいスタッフがあなたを支えてくれるでしょう。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

1年と半年、SAとしては3期務めさせていただきましたが、ここで一度マイクを置き、私が愛する地元、福岡での就職活動に専念させていただきます。また4年後期に機会があれば、SAとして復活させていただきたいです。大学生活の思い出の半分はSAといっても過言ではないと思うようになったのは多くの支えていただいたSA仲間、学習教育支援室の職員の方々のお陰です。本当にありがとうございました！



ST (簿記会計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

部活の先輩がSAをやっていたから。
人に教えることが好きだから。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

研修会で他の科目のSAから現状や取り組み姿勢、工夫などを知ることが出来て刺激になったこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人前で話すことが平気になった。
自分が理解していないと説明ができないので、理解を深める学習ができた。
学生がどこで躓いているのかわかるようになった。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

普段のアルバイトとは一味違った経験ができると思います。自分のためにも、学生のためにもSAになって、一生懸命取り組んでください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

今までお世話になりました。至らぬ点もあったと思いますが、皆さんのお力添えのお陰で、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。



MT (簿記会計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

友人からの誘い、好奇心

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

普段の学生生活からすれば経験ができないような事が様々な経験できた。
その中でもコアセッションの講義解説は二期目でも印象に残り、新鮮なものに感じた。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

大勢の人の前で話すことに躊躇いが無くなったことやゼミでプレゼンをする時もスラスラと言葉が出てくるようになりました。大勢の前で話す際、当たり前ですが相手は自分ではありません。ですが、案外その事を話してる最中は頭から抜けていて自分は分かるが他の人間は分からないように感じる話し方をしていましたがSAの活動を通じてそういう面でも意識的に話すことができ解説の仕方にも変化が生じてきたんじゃないかと思っています。また、他人に問題を解説するにはただ単に自分がその問題を解けるだけではなく問題の意味や流れを把握して正しく理解をすることが重要だと考えました。相手も理解がしにくく余計な時間がかかったり不消化のままになったりするので色んな表現で一つの問題を解説できるようになったと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

非常に有意義な時間が過ごせます。やってみて慣れず忙しかったり難しかったりすると思いますが必ずやってみて良かったと感ずることができるはずです。慣れない環境に飛び込むのは難航するかもしれませんがやってみれば最後に後悔を感じる事は無いと思います。ボランティアではなく時給がでますので嫌でも責任感が出ますし、部活動やサークルに入らなく就活等で話すネタが無い人にはうってつけだと思います。興味があれば話を聞いてみるだけでも良いかもしれません。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

今回は先輩方二人とコアセッションの解説をする形になり色々とお世話になりました。
1セメスターの間ですが同回生の2人や担当教員の赤塚先生とも楽しくやらせて頂きました。
ありがとうございました、お疲れ様です。



TY (簿記会計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

春学期にSAをやらせていただいて、秋もやりたいと思ったからです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

自分が授業でおすすめした方法で問題を解いてくれている人がいたときは、SAをやった甲斐があったと感じました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

授業では、常にどうすればわかりやすく伝えられるかを意識して話していたので、ほかの場面においても、自分の言いたいことをわかりやすく表現できるようになってきたという点で成長できたと思います。また、人に教えるという経験ができたことによって、私自身も自分の担当科目についての理解を深めることができたこともよかったと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

これからSAになろうと思っているひとは、まずやってみることが一番だと思います。SAの業務はそんなに難しくはないです。成績もあまり関係なさそうなので、応募すればすぐにSAになれると思います。やってみて、試行錯誤して、受講生や自分自身の成長につながるように頑張してほしいです。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

担当の先生には、いつもの確な指示を頂き、混乱なく講義予定を終えることができました。ほかのSAの方も、わからない問題を教えていただいたりして大変お世話になりました。半年間ありがとうございました。



TD (ミクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

ミクロ経済学を中心に扱うゼミに所属していることと、下宿なので大学で勉強しながら稼げる点がとても魅力的だった。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

テスト対策講座で教室が埋まるほど人数が来てとても驚きました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

多くの人の目の前で話す度胸が付いてきました。SAをやりはじめた当初は、どう説明したら悪い先入観無く問題に取り組めるか、伝わらない説明をしていないかなどを考えすぎてテンパらないようにすることに精一杯でした。しかし、自信と情熱を持って話せば少々ミスがあっても修正できるという先輩SAのアドバイスを意識して授業に取り組んだことで、最初の授業より格段に良くなったという感想を頂けたので成長を実感することができました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

成績に自信がある方はぜひ挑戦してみてください！
下世話な話かもしれませんが、勉強を頑張ったから大学から給料貰ってやるぞみたいな気持ちでもぜんぜん構わないと思います(笑)教える側の立場になると、教えられる立場以上に深く理解しなくてはなりません。テストで高得点を取れるような方だったら教える立場になる素養はありますので、ぜひSAになってみることをおすすめします！

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半年間、どうもありがとうございました。初めてSAで右も左もわからない中、わかりやすいスライドの作り方や聞きやすい授業の進行、説明の仕方などを親身にアドバイスしてくださったり、こちらからの相談に乗ってくださったりして、タメになると同時に自分への様々な気づきが得られました。そんな雰囲気の良いSA仲間の環境に居心地の良さを感じ、とても充実した半年間を送ることができました。



SK (ミクロ経済学A、マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

大学教員は普通であれば大学院を優秀な成績で卒業しないとなれないのに、それに自分でもなれるというのが魅力的であったため。
人前で話すのがもともと好きなので、それを仕事にしてみたかったから。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

試験対策講座を開催したところ、235人ものが1日だけで集まってくれて、のべ人数では500人以上もの人に参加してもらえたこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAの仲間と接することで、自分の伝える力が上がりました。
ある人からはプレゼンテーションの資料の作り方を指導してもらって初期の字を並べただけの資料よりもわかりやすい資料を作れるようになりましたし、先輩からは流れを崩さない授業の仕方を学び、知識量の必要性について気づくことができました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

意識の高い仲間との出会い、先生との距離の近さ、多くの人にとっての学校教育における最終段階である大学で教えること。これらの経験が得られるSAは日本中で滋賀大学でしかできません。滋賀大学で来たくて来たわけではないという人も多いと思いますが、あなたが志望していた大学ではプロの先生が行う授業をただ受けるだけです。滋賀大学に来たのもなにかの縁です。学びの最先端である大学での「学び」を僕たちといっしょに作ってみませんか？教壇に立つ自分の姿を想像してください。それはもうSAとしての立派な第一歩です。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

いつも僕の急進的な提案に賛同してくださる同科目のSAの皆様、織田先生、楽しくカラオケにつき合ってください鈴木先生、応援してくださる学習支援室の皆様のおかげでのびのびとSAができています。感謝の気持ちでいっぱいです。来年度も応援のほどよろしくお願い申し上げます。



IM（ミクロ経済学A、マクロ経済学A）

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

3回生次にもSAを行っていたため、継続して取り組みたいと考えたため。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

和輝君がマイクなしの地声で講義を行っていたこと。
地声で授業を行っていたが、明朗快活な授業を行っていたことに衝撃を受けるとともに、改めて「授業」の形は人それぞれであり、既成概念にとらわれてはいけないことを再認識したため。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験することによって、私は大きく成長することができました。特に、「ギャップを把握し、改善する能力」に関して成長をすることができたと思います。SAとして授業をしていく中で、授業をする側と受ける側の知識量の「ギャップ」、受講生の間での理解度の「ギャップ」等、多くの「ギャップ」が授業の中には存在していることに気づき、「ギャップ」を解決するためには私は何をすべきなのかと考え、各授業ごとにPDCAサイクルを回し、よりよい授業を受講生に対して提供できるように取り組みました。このように取り組んだことが、私の「ギャップを把握し、改善する能力」を成長させることができた要因だと考えます。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

既にSAになろうと思っている人、迷っている人、絶対にやらないと思っている人、色々な人がいると思います。そして、迷っている人達はおそらくSAを行うことで得られるメリットとデメリットで悩んでいるのではないのでしょうか？

そこでSAになることのメリットを、説明していきたいと思います。僕自身多くの方から質問を頂いた、「就職活動に役に立つのか」ということをメインテーマとして説明していきます。まずは、SAの活動が就職活動に役に立つのかということですが答えはYesです。なぜならば、①200人近い多くの人の前で自分の意見を話すという経験②経済学というやや難解な科目をかみ砕いて説明するための資料の作成③質問待機で各個人の理解力のギャップの源泉を見抜き、適切な解決策の提供…など普通の学生生活の中では得られないであろう経験を得ることができるため、自分自身に自信もつきますし、自分の能力も向上させることができ、「企業にとっての自分の魅力度を高める経験」を積むことができるからです。「企業にとっての自分の魅力度」をよりわかりやすくESや面接で表現できるようになることが皆さんにとってのメリットとして考えた時に、SAは最適な環境だと思います。

織田先生：2年間ミクロ&マクロで非常にお世話になりました。先生の下で行うSAは非常に楽しかったですし、とても勉強になりました。おそらく僕が大学の学部上回生の2年間で充実して過ごすことができたのは、先生の下でSAをすることができたからだと思います。中々最初の頃は思うような授業ができず、しばしば先生にご相談に乗っていただいていたため、非常に手間をかけさせてしまったと思いますが、先生が的確にアドバイスをくださったおかげで大きく成長することができたと思います。本当にありがとうございました。

近藤さん：近藤さんとは、同じ大学院進学者としてもっと勉強をしないといけないと思わせてくれる非常に良い先生でした。講義においても、ミクロの授業を何回か覗いたときに定義から解答まで非常にわかりやすく説明しておられ、とても勉強になりました。ありがとうございました。

和輝君：和輝君には良い意味で僕の中の既成概念を壊しまくってもらったと思います。それはマイクなしの授業をすることから始まり、細かいところでは授業の構成に至るまで様々な点で非常に良い刺激を頂きました。また、TEDや教育計画法について積極的に勉強して、「こんな方法が良いらしいですよ。」とよりよい授業を受講生に対して提供していこうとする姿勢には素直に脱帽しましたし、自分も負けぬように頑張ろうと思えました。ありがとうございました。

豊君：豊君にはマクロの授業を綺麗なパワーポイントを用いて行うという新体験をさせてもらいました。今までの「マクロ=板書」という考えかたを改めさせられただけではなく、綺麗なパワーポイントを作ることで受講生の理解度も大きく高まるし、自分自身の理解度も大きく高まることを学ばせてもらいました。他にも資料を作成している時に非常に多くの知的交流をさせてもらったことは僕の中に大きな刺激を与えてくれました。ありがとうございました。

友中君：友中君は数学的な色を強くしたミクロの授業を展開しようと取り組んでくれていたため、僕とは別のスタイルだとこのような感じで資料を作っていくのかと非常に興味深かったです。また、授業においても回を重ねるごとに少しずつ上達していったため、友中君の成長を感じ取るとともに、僕ももっと良い授業を提供することができるように頑張ろうと非常に良い刺激を頂きました。ありがとうございました。





SY（ミクロ経済学A、マクロ経済学A）

TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

友人の多くがコア科目で苦しんでいたため、もっと多くの人のコア取得に貢献したかった。

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

コアセッションの前々日の打ち合わせです。範囲を分担していると、話を合わせる必要があり、どこをどうするかを相談しました。一人ではないからといって仕事が少なくて済むわけではありません。

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

聞く相手がどういう人かを考えて話す必要性を実感しました。それまでは、言葉を投げつけるように話していたことが多かったので、そんな自分を変えるきっかけになりました。

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAは、「どう解説するか」「授業をどう組み立てるか」は自分達で考えます。そのため、自分で授業をつくるということに大きなやりがいと責任を感じます。自主性を発揮してくれる人を求めます。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

特にはないです。



K T (ミクロ経済学A、マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

経済学の知識を深めたかったから

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

受講生の中に、所属している部活の後輩が多くいたので緊張しました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAの活動を通じて様々なバックグラウンドや専門領域を持った学生と関わることが出来たので、自分の勉強に対するモチベーションが高められました。また、昨年受験した大学院受験においては、日々のコアセッションを行うことで培われた専門知識を活かして無事に志望していた大学院に合格することが出来ました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

大変ですが、得られるものが多い仕事ですので、興味があれば是非チャレンジして頂きたいです。初めは緊張もしますし多少の失敗もあると思いますが、先輩や担当の教授がしっかりサポートしてくださるので、人前で話すことがあまり得意でない学生にもやってみて欲しいと思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

今学期でSAを担当するのは最後ということになってしまいましたが、今まで大変お世話になりました。飽き性の僕が2年間もこの仕事を続けられたのは、この仕事が本当に楽しかったからだと思います。楽しく働ける環境を作って頂いた学習支援室のスタッフの方々や、一緒にコアセッションを作り上げた同僚のSAの方々、御指導頂いた教授の皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。



OK (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

専門演習の先生に誘っていただいたこと。もともと興味があったが、先生に誘っていただいたことで、やる決心をした。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

特別なことはないが、学生が質問に来てくださったことは、よく印象に残っている。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人前で話すことが苦手だったが、普通に話すことができるようになった。大勢の人に理解してもらえないといけなため、もし自分が受けていたらどのような資料が分かりやすいか、などということを手前の立場になって考えられるようになった。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

塾のアルバイトなどはよくありますが、コアセッションのように大勢の人に教えるということは、なかなかできない経験です。自分自身の成長のためにも、今後控えている就職活動のためにも、きっと役に立つと思います。人前で話すことが好きな人は当然やってみるといいと思いますが、私のように、人前で話すことが得意でない人には特に経験しみることをお勧めします。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半年間ありがとうございました。特に先生には、いろいろとご指導いただき感謝しております。来期も継続される方は頑張ってください。



ID (統計学A、統計学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

先生にやってみないかとお声がけいただき、面白そうだったことです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問待機などを通じてよく質問に来てくれる子がいてくれたこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

もともと人前で話すことはあまり得意ではなかったが、コアセッションで多くの人の前で話す機会が多々あったので、自然と人前で話すことに対して慣れることができた。また、人に何かを教えることに元々苦手意識はなかったが、どのように教えると、より受講生に分かってもらえるのかということを考えながら授業を練ることで、人に説明する能力が身についたと思っている。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

初めは誰でも人前に立つのは緊張するし、授業を行うというのもあまり自信がわかないと思います。ですが、SAになれば、自然と授業を通して人前で話すのも慣れてくるし、人に教えることも身に付けることができると思います！周りにいる先輩SAさんや、本講義授業を担当している先生、サポートしてくださる支援室の方々など、みなさん暖かくていい人ばかりなので、働きやすい環境だと思います。是非、自分の得意分野をみんなのために役立ててみませんか！？

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

コアセッションを欠席したりなどご迷惑を多々おかけしました！
今までありがとうございました！



K H (統計学A、統計学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

先生に誘われたため

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問によく来てくれる学生さんがいたこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを行う前は、人前で話すことが今以上に苦手で、最初の授業ではとても緊張していました。しかし、授業を重ねていくにつれて人前で話すことに慣れることができました。それ以外にも、授業を計画して教えることにより、学問的理解と人に伝える能力が以前に比べて上達したように思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

僕も最初は分からないことが多く、本当に自分にできるのかといった、不安に感じる部分がありましたが、授業数を重ねていくことで自然に慣れていきました。そのため、もし考えているのであれば、良い意味で気軽に考えてみれば良いと思います。気になるのならやってみて下さい。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

一学期間ありがとうございました。



HK (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

城出君にやってみない?と言われた事と、1年生の頃からきっかけがあれば、やってみたいと思っていたためです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初めてのSAだったので、担当の先生の指示やSAの仲間からのアドバイスがあり、そんなに不安がることなく授業が出来たことです。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験する前は、大勢の人の前に立って話をすることは今までで一度もなく、そのような貴重な機会を得ることが出来たのはとても有益であったと思います。また、同世代の人に対して授業を行うという、なかなかやってみようと思っててもできないことを経験できたのも、良かったと思います。受講生にどのように説明したら分かりやすくなるのか、よりよい授業にするためにはどうしたらよいのか、など考えたのは今後何かの役に立つのではないかと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

一度でいいので説明会に行ってみたり、SAの人の話を聞いてみたりして、どのようなことをやっているのか、やりがいはいか、などを聞いてみて、自分でもできそうと思ったらやってみることが大事だと思います。また新たな仲間が出来たり、SAと担当の先生方で集まって食事会をしたりなど、いいこともたくさんあると思います。SAに少しでも興味がある学生の方には、ぜひやっていただきたいと思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

藤井先生へ 4か月間、様々な場面でいろいろサポートしていただき本当に助かりました。来期もよろしく願います。SAの仲間へ 仲良くしていただいてありがとうございました。今後も仲良くしてください。願います。



Y M (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

先生にお声をかけていただいたからです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

授業外でも挨拶をしてくださったり、話しかけてくださったりしたことです。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人に何かを伝えることがいかに難しいかを実感しました。自分の頭の中では理解しているつもりでも、いざ言葉にして伝えようとするとなかなか良い言葉が出てこなかったり、実はあまり理解できてなかったのかなと思ったりしました。教える側に立ったことで、このようなことに気付くことができました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

是非、積極的にチャレンジしてみてください。苦手なことであっても、一歩踏み出してみれば意外と何でもできると思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

合計2年間、統計学のSAを担当させていただきまして、ありがとうございました。まだまだ、至らないところばかりですが、この経験を大切にして、次に活かして行こうと思います。



S Y (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

得田先生からのお誘い。元々SAへの憧れもあった。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

織田先生や鈴木先生を交えた飲み会

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

大人数を前にしても動じなくなった。インターンシップなどでプレゼンテーションをする機会にも「堂々としている」との言葉を頂いたので、この経験は確実にプラスになったのではないかと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

知識がない、恥ずかしいなどの理由でSAを敬遠する学生も多いのではないかと思います。でも考えてください。知識はなってから身につければ良いのです。「立場が人を作る」という言葉がありますが、責任感さえあれば知識は自然と身に付いてきます。場数をこなせば恥ずかしさも抜けてきます。ひとえに僕の体験談を述べただけですが、とりあえず参考までに。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

来年もSAは続けます。「神SA」を目指して、突っ走りたいと思います。